

環境活動レポート 2022 年度

(2022 年 4 月～2023 年 3 月まで)

2023 年 6 月 30 日

有限会社 小作物産

目次

会社概要	3
事業の概要	3
組織図	4
特記事項	7
廃棄物の流れ	9
環境目標とその実績	9
環境方針	10
主な環境活動計画の内容	11
環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	11
代表者による全体評価と見直し結果	12
環境関連法規への違反・訴訟等の有無	13
環境コミュニケーション	13
連絡窓口	13
※参照：2020～2021年度目標値の算出	14

〈会社概要〉

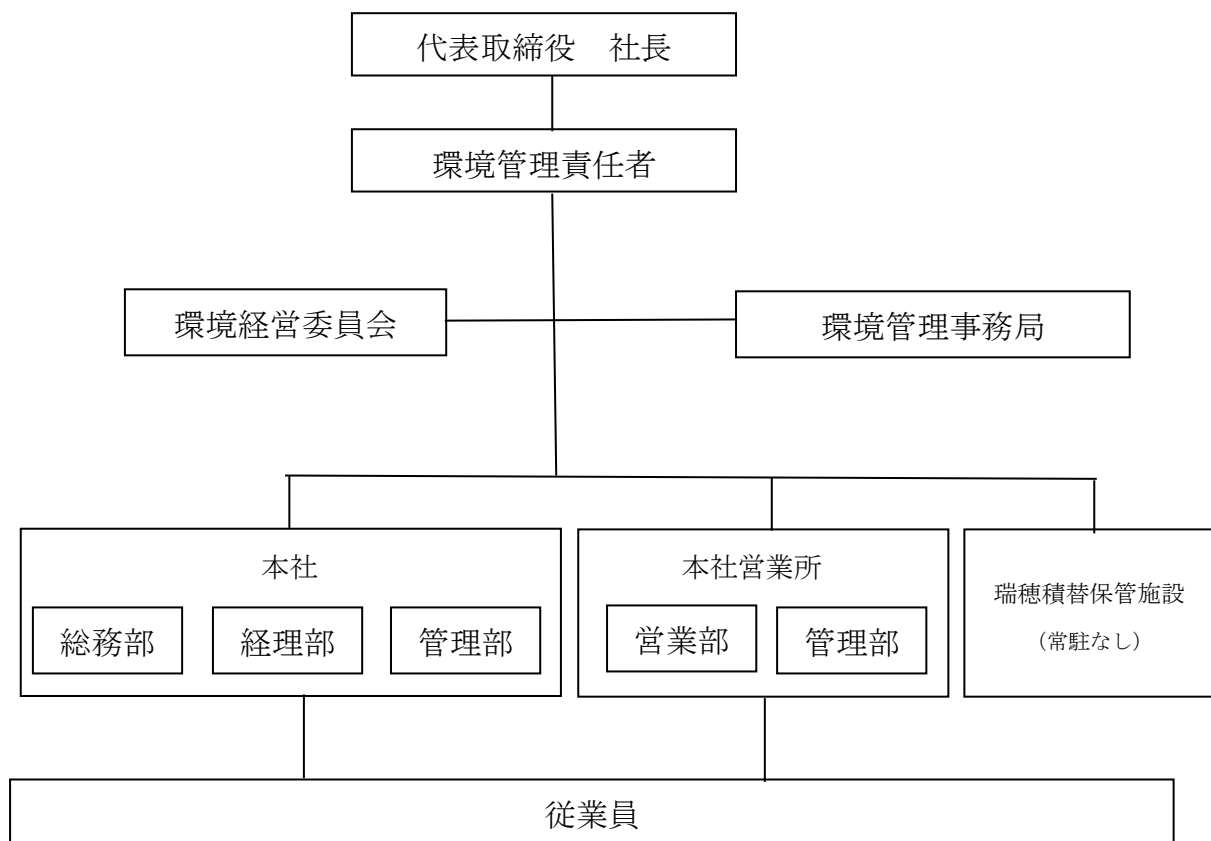
会社名	有限会社 小作物産	
法人設立年月日	(創 業)	1960年8月1日 (昭和35年)
代表取締役	小作 広美	
本社所在地	(本社、本社営業所)	東京都羽村市羽加美3-5-25
瑞穂積換保管施設	東京都西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎字武蔵野 930	
TEL/FAX	042-554-2332/ 042-554-2364	
メールアドレス	mail@ozaku.co.jp	
HP アドレス	http://www.ozaku.co.jp	
管理責任者	環境管理責任者	小作 広美
	本社部門責任者	小作 広美
	本社営業所部門責任者	谷合 達也
	瑞穂作業所部門責任者	小作 洋介

〈事業の概要〉

事業内容	一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業	
産業廃棄物許可区分	一般廃棄物	羽村市・青梅市・福生市・瑞穂町・武蔵村山市
	産業廃棄物	<p>東京都 第13-10-043293号</p> <p>【産業廃棄物の種類】(12品目)</p> <p>汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類 (石綿含有産業廃棄物を含む)</p> <p>(水銀使用製品産業廃棄物を含む)</p> <p>【保管・積替えできる産業廃棄物】(7品目)</p> <p>廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類 (石綿含有産業廃棄物を除く)</p> <p>(水銀使用製品産業廃棄物を含む)</p>
事業の規模	売上高	140百万円(2021/7月～2022/6月)
	従業員数	20名
	延床面積	219.6m ²
	資本金	300万円

実施体制 (各員の役割、責任及び権限)

〈環境システム組織図〉



(1) 社長

- a) 「環境経営方針」(環境経営に関する方針)を定める
- b) 環境経営管理責任者を任命する
- c) 環境経営システムの実施及び管理に必要な経営資源(人員、設備、費用等)を準備する
- d) 「環境経営目標一覧表」を承認する
- e) 「環境経営活動レポート」を承認する
- f) 環境経営システム全体の評価と見直しを実施し、必要な指示を環境経営管理責任者に行う
- g) 経営における課題とチャンスの明確化

(2) 環境経営管理責任者

環境経営管理責任者は、社長の 小作 広美 とする

環境経営管理責任者は、当社の環境経営システムを構築・運用し、維持するため、他の職責に係わりなく次の役割、責任及び権限を有する

- a) 環境経営方針を制定して各部門責任者への伝達及び全社員への周知・徹底を指示する
- b) 環境への負荷及び取組みのチェック結果の評価を行う
- c) 環境経営目標の策定及び見直しをする
- d) 「環境経営目標の一覧表」を審査する
- e) 「環境関連法規等一覧表」および「環境経営活動計画」の策定及び見直しをする
- f) 「環境経営活動計画」を承認し進捗管理を実施する
- g) 環境経営委員会を主催する
- h) 環境経営システムに関する各員の役割・責任・権限を各部門責任者へ伝達する
- i) 社外からの環境に関する苦情や要望に対し必要な対応・回答を行う
- j) 「環境経営活動レポート」を審査し社内外に公開する
- k) 必要な手順書及び様式集を承認する
- l) 「環境経営活動計画進捗管理表」を確認・評価し社長へ報告する
- m) 「環境関連法規等遵守状況表」を確認・評価し社長へ報告する
- n) 目標の達成状況、取組み状況に問題ある時は是正処置の実施を指示し、その結果を確認する
- o) まだ問題とはなっていないが、将来的に問題が起これると予測される時は、予防措置の実施を指示し、その結果を確認する
- p) 環境経営システム全体の見直しに必要な情報を社長に報告し、社長の指示を「代表者による見直し結果」に記録する
- q) その他当社の環境経営システムを構築・運用し、維持するために必要な事項を実施する
- r) 文書の見直しは毎年6月に責任者が行い、社長に報告し、社長が承認する

(3) 部門責任者

部門責任者は、環境経営システムの構築・運用及び維持に関して、部門の統括者として以下のことを行う

- a) 環境方針の部門内従業員へ周知・徹底する
- b) 環境への負荷の自己チェックの実施及び見直しをする
- c) 「環境関連法規等一覧表」の内容を関係者に伝達する
- d) 「環境活動計画」に従った取組みを実施し必要な記録を作成する
- e) 環境経営システムに関する役割・責任・権限を部門内従業員へ周知する
- f) 教育・訓練を計画し実施する
- g) 必要な手順書の作成及び見直しをする
- h) 自部門で保管する環境記録を管理する
- i) その他、自部門で環境経営システムを運用し維持するために必要な事項を実施する

(4) 環境経営委員会

①構成	社長、環境経営管理責任者及び部門責任者 (主催は環境経営管理責任者とする)
②開催頻度	原則として、毎年度4回 (9、12、3、6月とする)
③付議事項	イ) 環境経営目標及び環境活動計画の審議 ロ) 環境経営目標及び環境活動計画の進捗状況の報告 ハ) 環境経営システムの見直しに必要な情報の報告 ニ) その他、環境経営システムの構築・運用・維持に関する事項 の協議
④欠席者フォロー	議事録および資料等は欠席者に回覧

* 議事録は専用の用紙を用いること。

(5) 全従業員

環境経営システムを理解し、環境方針及び環境目標を達成するために必要な取組みを実施する

役割・責任・権限の周知

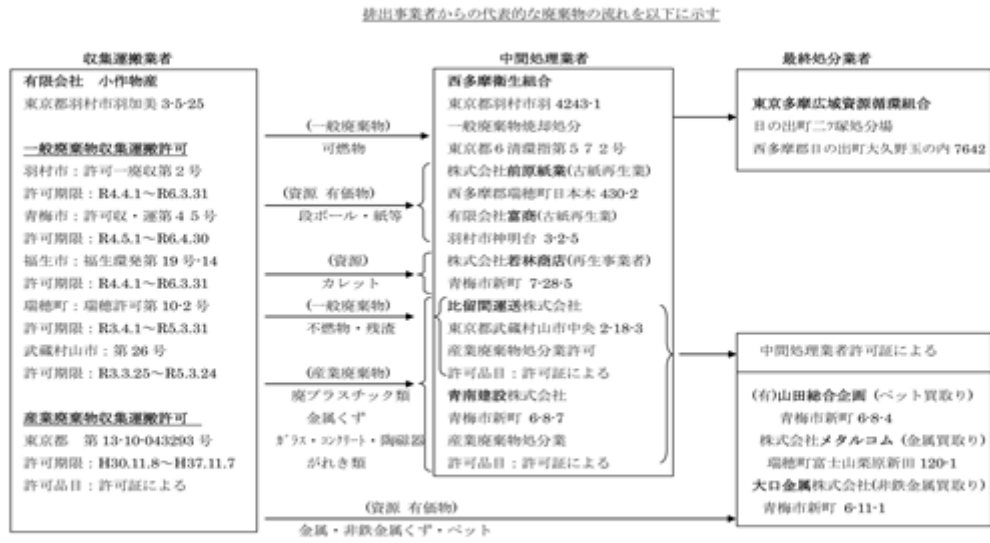
- 1) 環境経営管理責任者は、各部門責任者に周知する
- 2) 各部門責任者は、部門内会議等において、自部門の従業員に周知する

〈特記事項〉

産業廃棄物許可の内容 (東京都)	許可番号 許可年月日 許可の有効年月日	第13-10-043293号 平成30年11月 8日 平成37年11月 7日
	事業計画の内容	都内の事業所・建設現場等で排出された廃棄物を処分業者へ収集運搬する。一部は自社保管積替えし、可能な限り再生利用を推進、また資源化・減量化を推進する事業を営むものである。
	事業の範囲	収集運搬（保管積替え含む）
	許可品目（収集運搬のみ） 12品目	廃プラスチック類、紙くず、木くず、 繊維くず、金属くず ガラス・コンクリート・陶磁器くず がれき類、汚泥、廃油、廃酸 廃アルカリ、動植物性残渣 <small>(石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物を含む)</small>

産業廃棄物の許可内容 (東京都)	許可品目：7品目 (保管積替え含む)	廃プラスチック類、紙くず 木くず、繊維くず、金属くず、がれき類 ガラス・コンクリート・陶磁器くず (石綿含有産業廃棄物を除く) (水銀使用製品産業廃棄物を含む)																																																																																	
運搬車両	種類と台数(2023.4.1)現在 【注1】網掛け部は緑ナンバー 【注2】全て「八王子」表示	<table border="1"> <tr><td>800</td><td>あ</td><td>2380</td><td>パッカー車</td><td>2.95t</td></tr> <tr><td>800</td><td>あ</td><td>2521</td><td>パッカー車</td><td>2.7t</td></tr> <tr><td>800</td><td>あ</td><td>2810</td><td>パッカー車</td><td>2.8t</td></tr> <tr><td>800</td><td>あ</td><td>4602</td><td>パッカー車</td><td>2.85t</td></tr> <tr><td>800</td><td>あ</td><td>3491</td><td>パッカー車</td><td>2.5t</td></tr> <tr><td>800</td><td>あ</td><td>3998</td><td>パッカー車</td><td>2.8t</td></tr> <tr><td>800</td><td>あ</td><td>4188</td><td>パッカー車</td><td>2.85t</td></tr> <tr><td>400</td><td>あ</td><td>9509</td><td>ダンプ車</td><td>2.0t</td></tr> <tr><td>400</td><td>あ</td><td>9824</td><td>ダンプ車</td><td>2.0t</td></tr> <tr><td>100</td><td>あ</td><td>281</td><td>アームロール車</td><td>2.0t</td></tr> <tr><td>100</td><td>あ</td><td>8052</td><td>平ボディ車</td><td>1.95t</td></tr> <tr><td>100</td><td>あ</td><td>7673</td><td>平ボディ車</td><td>2.0t</td></tr> <tr><td>400</td><td>あ</td><td>2045</td><td>平ボディ車</td><td>2.0t</td></tr> <tr><td>400</td><td>あ</td><td>1623</td><td>平ボディ車</td><td>2.0t</td></tr> <tr><td>480</td><td>い</td><td>1222</td><td>軽ダンプ車</td><td>0.35t</td></tr> <tr><td>480</td><td>く</td><td>7104</td><td>軽ダンプ車</td><td>0.35t</td></tr> </table>		800	あ	2380	パッカー車	2.95t	800	あ	2521	パッカー車	2.7t	800	あ	2810	パッカー車	2.8t	800	あ	4602	パッカー車	2.85t	800	あ	3491	パッカー車	2.5t	800	あ	3998	パッカー車	2.8t	800	あ	4188	パッカー車	2.85t	400	あ	9509	ダンプ車	2.0t	400	あ	9824	ダンプ車	2.0t	100	あ	281	アームロール車	2.0t	100	あ	8052	平ボディ車	1.95t	100	あ	7673	平ボディ車	2.0t	400	あ	2045	平ボディ車	2.0t	400	あ	1623	平ボディ車	2.0t	480	い	1222	軽ダンプ車	0.35t	480	く	7104	軽ダンプ車	0.35t
800	あ	2380	パッカー車	2.95t																																																																															
800	あ	2521	パッカー車	2.7t																																																																															
800	あ	2810	パッカー車	2.8t																																																																															
800	あ	4602	パッカー車	2.85t																																																																															
800	あ	3491	パッカー車	2.5t																																																																															
800	あ	3998	パッカー車	2.8t																																																																															
800	あ	4188	パッカー車	2.85t																																																																															
400	あ	9509	ダンプ車	2.0t																																																																															
400	あ	9824	ダンプ車	2.0t																																																																															
100	あ	281	アームロール車	2.0t																																																																															
100	あ	8052	平ボディ車	1.95t																																																																															
100	あ	7673	平ボディ車	2.0t																																																																															
400	あ	2045	平ボディ車	2.0t																																																																															
400	あ	1623	平ボディ車	2.0t																																																																															
480	い	1222	軽ダンプ車	0.35t																																																																															
480	く	7104	軽ダンプ車	0.35t																																																																															
積替保管施設 (東京都)	面積	551.1m ²																																																																																	
	保管上限量	25.9m ³																																																																																	
処理実績	環境への負荷の自己チェック	環境に負荷を与える様な要素は無い																																																																																	
	受託した廃棄物(ton)	廃プラスチック類	52.20																																																																																
		紙くず	0																																																																																
		木くず	39.01																																																																																
		繊維くず	0.24																																																																																
		金属くず	21.76																																																																																
		ガラス・コンクリ・陶磁器くず	13.30																																																																																
		がれき類	17.92																																																																																
		汚泥	0.28																																																																																
		産業廃棄物 計	144.73																																																																																
		一般廃棄物・資源物	5,251.72																																																																																
		合計	5,396.45																																																																																
廃棄物処理料金	一廃・産廃とも	別途見積による																																																																																	

〈廃棄物の流れ〉



〈環境目標設定と実績〉

※ 11 ページに記載 「4年間の目標値と実績」

二酸化炭素排出量の4年間の推移

年度	2019	2020	2021	2022
排出量(kg-CO2)	85,868	85,578	88,021	92256.4

〈環境負荷の達成度〉

目標 4年間維持することとする

電力の二酸化炭素排出係数: 0.442(kg-CO2/kWh)

対目標値に対する増減比較割合(%) (この率には 項目だけを使用) → 101.7 ↑ 未達

項目(実績)	2021/4/1	5	6	7	8	9	10	11	12	2022/1	2	3	合計	目標	個別増減率 ↓ (%)
削減率 (%)	維持														
全電力使用量 kWh	1946	1427	1304	1157	1170	1019	1136	1383	1376	2032	2195	1696	17841		
目標値	857													7882	226.4 ↑ 未達
軽油 ㏩	2557	2759	2778	2852	3153	2833	2639	2633	2600	2480	2248	2604	32135		
目標値	2583													31000	103.7 ↑ 未達
ガソリン ㏩	146	134	189	113	138	146	116	148	115	120	125	142	1630		
目標値	85													1020	159.8 ↑ 未達
二酸化炭素 kg-CO2	7558	7818	7934	7927	8771	7932	7414	7589	7454	7388	6883	7588	92257		
目標値	7156													85868	107.4 ↑ 未達
水使用量 m3		25		23		24		26		27		26	151		
目標値		24												144	104.9 ↑ 未達
自社廃棄物 kg	20	23	28	24	29	15	19	11	21	23	13	19	244		
目標値	22													263	92.9 ↓ 達成
委託ゴミ取忘れ防止 件数	5	8	7	8	8	6	10	4	3	7	11	6	83		
目標値(週3回/月12回以下)	12													144	57.6 ↓ 達成
コピー用紙グリーン購入 枚数	620	0	250	260	140	160	140	160	160	140	140	640	2810		
目標値	100%													100%	
車両清掃の実施 回数	2													24	
目標値(週0.5回/月2回以上)	2													24	100
隣接道路の清掃 回数	2													24	
目標値(週1回/月2回以上)	2													24	100
低公害車への転換 0件		1												1	
目標値														1	
廃棄物処理量 ton	444.1	501.0	462.3	445.1	468.0	454.0	458.9	449.3	492.7	430.9	359.7	430.4	5398		

環境方針及び環境への負荷自己チェック結果を基に、最重要項目である主要エネルギー使用量（電気、ガソリン、軽油）による二酸化炭素排出量を主項目とし、自社廃棄物・上水使用量の2項目を加えこの3項目を達成度判定基準とし、4年間で環境負荷の維持に取り組んだ。この重みの異なる3項目を分母に並べるのはやや偏っているのでは？と思う所もあるが、数値上捉えやすい項目としている。

昨年と同様に、エネルギーとは別に業務に密着する「委託ゴミ収集取忘れ防止」等を努力目標に掲げている。

環境目標設定値は2020年度3月締めを基にしている。（このレポートの最終11ページに記載）

洗車は浅井戸水使用により循環水として排水量計上されない、データ把握は井戸水用メーターで実施している。

〈環境方針〉

※右表

2023.4.1日

確認済み

有限会社 **小作物産**

環境経営システム（エコアクション21）への取組みについて

基本理念

有限会社小作物産は、一般廃棄物ならびに産業廃棄物の収集運搬業を通して、循環型社会・持続可能社会の構築に資することにつとめます。

方針

1. 環境経営システムを活用し、環境経営を積極的に推進し、環境負荷の継続的改善に努めます。
2. 当社に適用される環境関連の法規制等を遵守します。
3. 当社の一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬という事業の特性を踏まえ、以下の環境活動に重点的に取り組みます。
 - ① エネルギー使用を削減し、温暖化防止のために二酸化炭素の排出削減に努めます。
 - ② 自社廃棄物の排出量の削減、リサイクルのための活動を行います。
 - ③ 節水を徹底し、排水量の削減に努め
 - ④ グリーン購入につとめます。
 - ⑤ 周辺環境との調和を図り、清潔な会社を維持します。
4. この環境経営システムの機能を有効にするために、社内の実施体制を確立し、全従業員への環境教育・啓発に努めます。
5. この環境方針を実現するために、環境目標を設定し、定期的に見直し環境改善に努めます。

2020年 4月 1日改定
有限会社 小作物産
代表取締役 小作 広美

<主要な環境活動計画の内容>

- エコドライブの推進 : ① 不要なアイドリングの停止
 ② タイヤ空気圧をチェック
 ③ 不要な荷物は積まない
 ④ 急発進・急加速をしない
 ⑤ エンジンブレーキを正しく使用
 ⑥ カーエアコンの収集作業中の停止
 ⑦ 適切な配車により無駄な動きを減らす

(下表 注1)

環境活動項目	実施部門/責任者	活動計画の内容	進捗管理指標
電気使用量の削減	全サイト/ 各部門担当 責任者・社長	・ 不要な照明（事務室、トイレ等不在時）の消灯の徹底 ・ OA 機器は使用時のみ電源を入れ待機電力は切る ・ エアコン取替えと温度設定(暖房 20℃、冷房 28℃) ・ タイム SW 取付け、貼紙の徹底	環境委員会の 開催時に状況の 把握を行う
軽油使用量の削減		・ エコドライブの徹底（デジタコ装着による指導） ・ G エコポイント参加による運転者の意識向上 ・ 無駄な走行をしないよう、させない様に意識啓発	デジタコ安全管 理表による指導 及び G エコポイントの 継続運用
ガソリン使用量の削減		・ エコドライブ（注1）の徹底	
上水使用量の削減		・ 漏洩の定期チェック	検量で確認
自社廃棄物 排出量の削減		・ 廃棄物の発生抑制（両面コピーの実施、ミスコピーの削減、 使用済み封筒の再利用、物を大事にする意識教育） ・ 分別を徹底し再資源化にまわす	発生の都度記録 を行うとともに 状況を確認する
委託ゴミ取忘れ防止		・ 市から委託の収集作業に於ける取忘れを防止する (連絡を受けた件数をカウント、 従って取忘れ範囲としては広がる)	回数を設定

<環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容>

- 達成できなかった項目：電力使用量、水使用量、軽油、ガソリン、二酸化炭素、
- 達成できた項目： 自社廃棄物、委託取り忘れ

環境活動計画書の増減率はトータルでは、101.7%(増加率で1.7%)であり達成できなかった。増減率は、二酸化炭素排出量(電気・軽油・ガソリン)、上水使用量、自社廃棄物量に絞り、その他の努力項目は除外して計算した。本年度より独自の二酸化炭素の排出量から東京電力の数値にて計算しているため、増減率に大きな変化が出る。

近年の現状を踏まえ、仕事の量も増えているため、目標値を再度見直す必要があるだろう。

ガソリンは営業活動が増えたための数値だろう。軽油に関しては昨年とあまり変動はない。未達成となった電気については本年度を基準とし、引き続き努力はする。廃棄物の得意先の種類、運搬方法により軽油の使用量や数値に変動が毎年ある。状況を見てその都度対応していきたい。コロナ禍が続いているため、情報の管理等しっかり会社側で対応していきたい。

当社は安全第一を基本とし、H18/3月のデジタコ装着、H19/2月のグリーンエコプロジェクト参画とドライブレコーダ装着等の施策により、「ドライバーが安全運転行うことで急の付かない運転をしてくれる。」従って燃費も向上するという穏やかな施策を継続しており、さらにオートマ車導入による安全対策も進めている。燃費が悪くなる方向ではあるが、基本方針に沿って努力していきたい。

ごみの取り忘れは、毎年達成できるが近年は人の入れ替わりがなかったためだろう。今年に入り新人が数名入社したので、来年度は変化があると想定する。ゴミ取忘れ防止に関しては、車両事故を防止するという観点から目標値を高くしていない、慣れに関しては注意していきたい。

二酸化炭素の排出削減 (エネルギー使用量)	今年も未達成となった。 今年を基準とし新たにベースを作って改善すべきことはしていく。
電気使用量の削減	未達成だが、次年度に期待する。
自社廃棄物の排出削減 リサイクルの推進	達成しました。分別をし、資源物を増やす様に継続的な努力をした。 引き続き努力を進める。
水使用量の削減	未達成 水まき、洗車が大半だと思うか努力する。
委託ゴミ収集取忘れ防止	市から委託されているゴミ収集に関する取忘れを防止する。 ただし取忘れに限定せず連絡が入ったもの全てをカウントする。 事故防止上本項目は100%実施項目とし、カウントを注視するものとする。

主エネルギーである軽油削減に取り組んでいるが取引先の変化もあり、今年も未達成に終わった。これからも現状行っている施策を引き継いでいく。以下に取組を列記する。

軽油使用量の削減	新デジタコ取得データを活用して、急の付く動作を防止する。 安全運転を励行して、急の付く動作を防止する。 以上2点に関し、特に交差点での指導を随時行う。 無駄な動きをしない様に、適切な車両配置を行う。
----------	--

〈代表者による全体評価と見直しの結果〉

目標基準に対して未達が多かった

昨年と同様 EA21 への取組みを意識づけていきたいと思っているがなかなか難しい。意識させることなく自然に行える環境作りをしていきたい。コロナが終息し、また世の中の状況が変わるかもしれないが、まずは安全第一とし、安全運転・安全作業・良い会社を通してエネルギー削減に取り組んでいきたい。

会社全体で改善できることを模索していきたい。(話せる社員を増やすなど)

〈環境関連法規への違反・訴訟等の有無〉

廃棄物処理法・都民の健康と安全を確保する環境に関する条例・貨物自動車運送事業輸送安全規則・その他、環境関連法規制への違反はありません。なお、関係当局からの違反等の指摘は過去にありません。また訴訟についてもありません。

〈環境コミュニケーション〉

特に報告事項はありません。

〈連絡窓口〉

事業活動に関する概略は当社のホームページに記載を予定している。

<http://www.ozaku.co.jp>

また EA21事務局の環境活動レポートを公開している。

<http://www.ea21.jp>

当社の環境活動や本レポートへのご意見ご質問等がございましたら、〈会社概要〉に記載している本社部門責任者 小作 広美宛にご連絡下さい。

Tel	0 4 2 - 5 5 4 - 5 3 2 0
Fax	0 4 2 - 5 5 4 - 2 3 6 4
メール	mail@ozaku.co.jp

※参照：2020年～2024年度目標値の算出

＜環境負荷の達成度チェック＞ @2020年度締めデータから、2021/4月以降の目標値の算出

目標算出のために2019年4月より環境負荷量及び受託廃棄物量等の推移概

項目		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
電気	kWh	551	406	475	630	788	602	559	661	821	850	801	738	7882
軽油	ℓ	2542	2605	2605	2849	2776	2792	2697	2390	2664	2311	2345	2425	31000
ガソリン	ℓ	107	100	53	107	92	84	94	84	76	50	98	75	1020
二酸化炭素	kg-CO2	7064	7161	7079	7894	7704	7677	7450	6655	7410	6429	6605	6742	85868
上水使用量	m3		25		21		27		23		24		24	144
自社廃棄物	kg	18	26	23	19	21	23	20	21	28	20	27	19	263
廃棄物処理量	ton													5320

4年間の目標値設定
2020～2024
の計算根拠

改定：2023年 4月 6日

環境目標一覧表

承認	社長 小作	管理責任	審査	専務局 起草
----	----------	------	----	-----------

中期目標	(2020年度の実績) 目標設定項目	2022年度環境目標	2023年度環境目標	2024年度環境目標	2025年度環境目標	目標値 目標年度 2022～2025年 総計	
1	電気使用量の削減 環境負荷達成度チェック の計算から除外	(7,882kwh)	(7,882kwh)	(17,841kwh)	(17,841kwh)	(17,841kwh)	維持
2	二酸化炭素排出量で代表 軽油の月別	(31,000ℓ)	(31,000ℓ)	(31,000ℓ)	(31,000ℓ)	(31,000ℓ)	↑
3	ガソリンの削減	(1,020ℓ)	(1,020ℓ)	(1,020ℓ)	(1,020ℓ)	(1,020ℓ)	↑
4	二酸化炭素発生量の削減	(85868kg-CO2)	(85868kg-CO2)	(85868kg-CO2)	(85868kg-CO2)	(85868kg-CO2)	↑
5	上水使用量の削減	(144m3)	(144m3)	(144m3)	(144m3)	(144m3)	↑
6	自社廃棄物排出量の削減 (一般廃棄物に関する)	(263kg)	(263kg)	(263kg)	(263kg)	(263kg)	↑
7	委託ゴミ取忘れ防止		取り忘れ回数	←	←	←	各設定年100%
8	再生コピー用紙使用 (グリーン購入)		再生枚数	←	←	←	↑
9	車両清掃の実施		実施回数	←	←	←	↑
10	環境負荷達成度チェック の計算から除外		週0.5回(月2回)以上	←	←	←	↑
11	受託した産業廃棄物の 収集運搬・処分 における環境配慮		提案実施	←	←	←	↑
12	各年の特定設定項目		低公害車への転換 (1台)	未	未	未	↑

目標項目⑧～⑩の「委託ゴミ取忘れ防止」、「車両清掃の実施」、「騎乗道路の清掃」に關し、目標件数は今後に渡り極度に低くない理由として、車事故防止の観点から作業員の緊張を強いる事による事故防止を掲げる
目標項目⑨は「取忘れ」だが単に「取忘れ」に留まらず「後出し」、「間違え」その他会社に連絡が入ったものを全てを網羅する事に注意及びこの目標値は現状より過大にしたくないためカウントはせず注視目標とする
目標項目⑩は購入時に必ず再生紙であることを確認義務にしているので達成率に届かない
目標項目⑧～⑩は絶対に達成すべき項目と目論まず達成率計算には組み込まない